

令和6年  
火災・救急・救助概要

宝塚市消防本部

# 目 次

## I 火災の概要

1	火災の発生状況	1
2	火災覚知種別の状況	4
3	火災の覚知から現場到着までの所要時間	4
4	初期消火状況	5
5	署所別火災発生状況	5
6	月別・時間別火災発生状況	6
7	出火原因	7
8	火災発生件数の推移	8
9	その他の出動状況	8
10	防災出動状況	9

## II 救急の概要

1	救急事故種別出動状況	10
2	傷病程度別搬送状況	11
3	署所別出動状況	12
4	医療機関別搬送状況	13
5	年齢区分別搬送状況	14
6	月別・曜日別出動状況	15
7	救急出動件数の推移	16

## III 救助の概要

1	救助事故種別出動状況	17
2	発生場所別活動件数・救助人員状況	18
3	建物内生存者確認による出動状況	19

# I 火災の概要

## 1 火災の発生状況

### (1) 火災件数

令和6年中の火災の発生状況は表-1・2・3のとおりで、総件数は26件発生し、前年と比べ4件減少しています。

火災種別ごとでは、建物火災は14件で前年と同件数、林野火災は0件で前年と比べ2件減少、車両火災は7件で前年と比べ1件増加、その他の火災は5件で前年と比べ3件減少しています。

### (2) 焼損棟数・面積等

焼損棟数は、14棟で前年と比べ同棟数となっています。焼損棟数の内訳は全焼棟数は0棟、半焼棟数は1棟、部分焼棟数は2棟、ぼや棟数は11棟です。前年と比べ半焼棟数は1棟増加、部分焼棟数は2棟減少、ぼや棟数は1棟増加となっています。

焼損面積等は、建物焼損床面積は54平方メートルで前年と比べ161平方メートル減少、建物焼損表面積は28平方メートルで前年と比べ114平方メートル減少しています。

車両火災の焼損台数は7台で前年と比べ1台増加しています。

### (3) 死傷者

令和6年中に死者は発生しておらず、負傷者は8名で前年同人数となっています。

表-1 【火災種別件数】

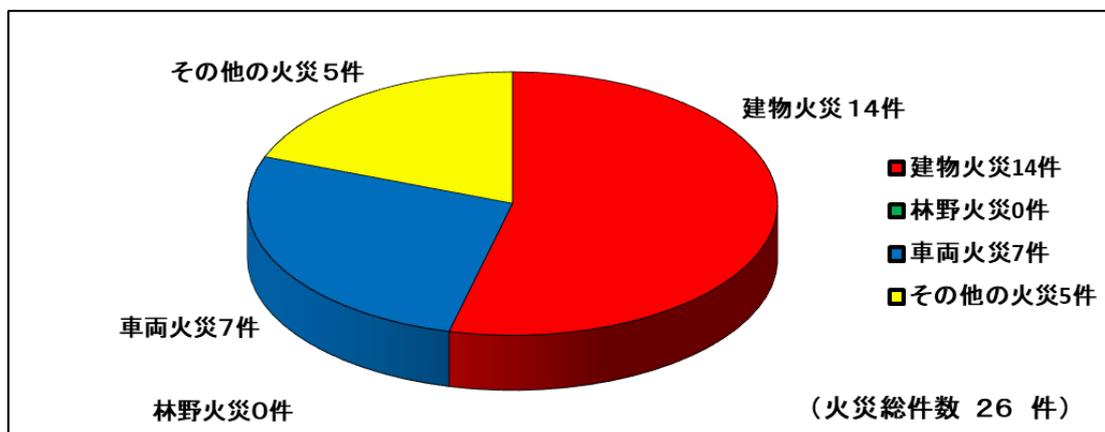


表-2

【前年との対比1】

区 分		単 位	令 和 6 年 (A)	令 和 5 年 (B)	増 減 (A)-(B)=(C)
出 火 件 数			26	30	△ 4
火 災 種 別	建 物	件	14	14	0
	林 野		0	2	△ 2
	車 両		7	6	1
	そ の 他		5	8	△ 3
焼 損 棟 数	合 計	棟	14	14	0
	全 焼		0	0	0
	半 焼		1	0	1
	部 分 焼		2	4	△ 2
	ぼ や		11	10	1
爆 発 損 害 棟 数			0	0	0
焼 損 面 積	建 物 床 面 積	m <sup>2</sup>	54	215	△ 161
	建 物 表 面 積	m <sup>2</sup>	28	142	△ 114
	林 野	a	0	13.6	△ 13.6
	車 両	台	7	6	1
り 災 世 帯 数	合 計	世 帯	11	24	△ 13
	全 損		0	3	△ 3
	半 損		0	2	△ 2
	小 損		11	19	△ 8
り 災 人 員		人	15	47	△ 32

※ 令和6年数値は概算値を含んでおり、確定値ではない。

※ △は減少を示す。

表-3

【前年との対比2】

区 分		単 位	令 和 6 年 (A)	令 和 5 年 (B)	増 減 (A)-(B)=(C)
死 者			0	2	△ 2
負 傷 者	3 0 日 死 者	人	0	0	0
	重 症		3	0	3
	中 等 症		2	0	2
	軽 症		3	8	△ 5
出 動 車 両	合 計	台	144	163	△ 19
	消 防 署		144	132	12
	消 防 団		0	31	△ 31
出 動 人 員	合 計	人	504	609	△ 105
	消 防 署		504	466	38
	消 防 団		0	143	△ 143
建 物 火 災 一 件 当 たり	建 物 焼 損 面 積	m <sup>2</sup>	6.0	26.0	△ 20.0
	焼 損 棟 数	棟	1.0	1.0	0.0
	り 災 世 帯	世帯	0.8	1.7	△ 0.9
	り 災 人 員	人	1.1	3.4	△ 2.3
林 野 火 災 一 件 当 たり	焼 損 面 積	a	0.0	6.8	△ 6.8
出 火 率		件	1.17	1.35	△ 0.18

※ 火災により負傷した後48時間以内に死亡したものは火災による死者として取り扱う。

※ 負傷者のうち「30日死者」とは、火災によって負傷した者が、負傷後48時間を経過して30日以内に死亡した者をいう。

※ 出火率は人口1万人当たりの出火件数をいう。

$$\text{出火率(件)} = \text{出火件数} \div \text{人口} \times 10,000$$

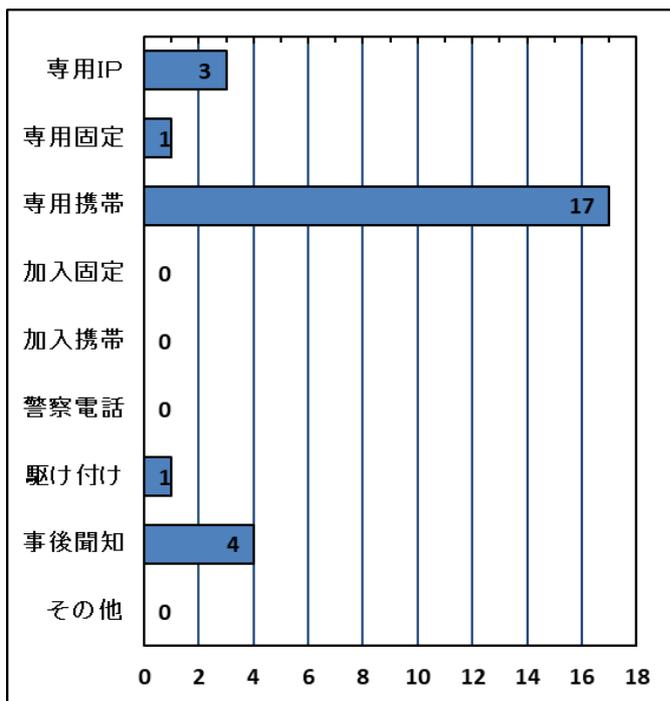
※ 令和6年数値は概算値を含んでおり、確定値ではない。

※ △は減少を示す。

## 2 火災覚知種別の状況

令和6年中、火災を覚知する種別が最も多かったのは、表-4のとおり携帯電話からの119番通報で17件でした。

表-4 【火災覚知種別状況】



- ・専用IP⇒固定電話（NTT加入電話を除く）からの119番通報
- ・専用固定⇒固定電話（NTT加入電話）からの119番通報
- ・専用携帯⇒携帯電話からの119番通報
- ・加入固定⇒固定電話からの消防本部固定局への通報
- ・加入携帯⇒携帯電話からの消防本部固定局への通報
- ・警察電話⇒警察専用回線からの通報
- ・駆け付け⇒駆け付けによる通報
- ・事後聞知⇒火災が消えた後に通報
- ・その他⇒上記以外の通報

## 3 火災の覚知から現場到着までの所要時間

令和6年中に発生した26件の火災から、事後聞知の火災4件を除いた22件の火災について、119番通報を受信してから、出動、現場到着までに要した時間の平均値は表-5のとおりです。

表-5 【所要時間の平均値】

区分	覚知～出動	出動～現着	覚知～現着
全市域	1分16秒	4分49秒	6分05秒

※ 覚知とは、消防機関が火災等の災害を認知すること。

#### 4 初期消火状況

令和6年中に発生した26件の火災のうち、初期消火が行われたのは、表-6のとおり19件で、そのうち初期消火に成功した件数は16件でした。

**表-6 【初期消火の実施件数】**

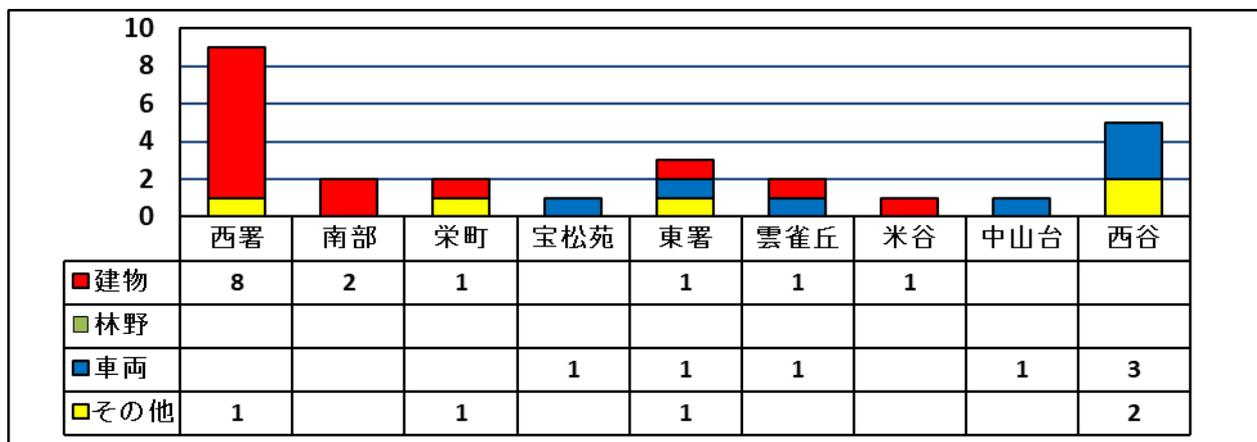
初期消火実施件数 消火種別	合計 【19件】	建 物 【10件】	林 野 【0件】	車 両 【5件】	そ の 他 【4件】
水 バ ケ ッ	0 (0)				
強 化 液 消 火 器	0 (0)				
粉 末 消 火 器	7 (7)	4 (4)		2 (2)	1 (1)
水道、浴槽、汲み置き等の水をかけた	9 (7)	3 (2)		3 (3)	3 (2)
寝具、衣類等をかけた	3 (2)	3 (2)			
も み 消 し た	0 (0)				
そ の 他	0 (0)				
合 計	19 (16)	10 (8)	0 (0)	5 (5)	4 (3)

※（ ）内の数字は初期消火に成功した件数を示す。

#### 5 署所別火災発生状況

各署所の管轄、受持地区内で発生した火災件数は表-7のとおりで、西署管内が最も多く9件発生しています。

**表-7 【署所別火災発生件数】**



## 6 月別・時間別火災発生状況

月別の火災発生状況は、表－8のとおりで、2月に5件と最も多く発生しています。

時間別で見ると、12時から15時の時間帯に9件と最も多く発生しています。

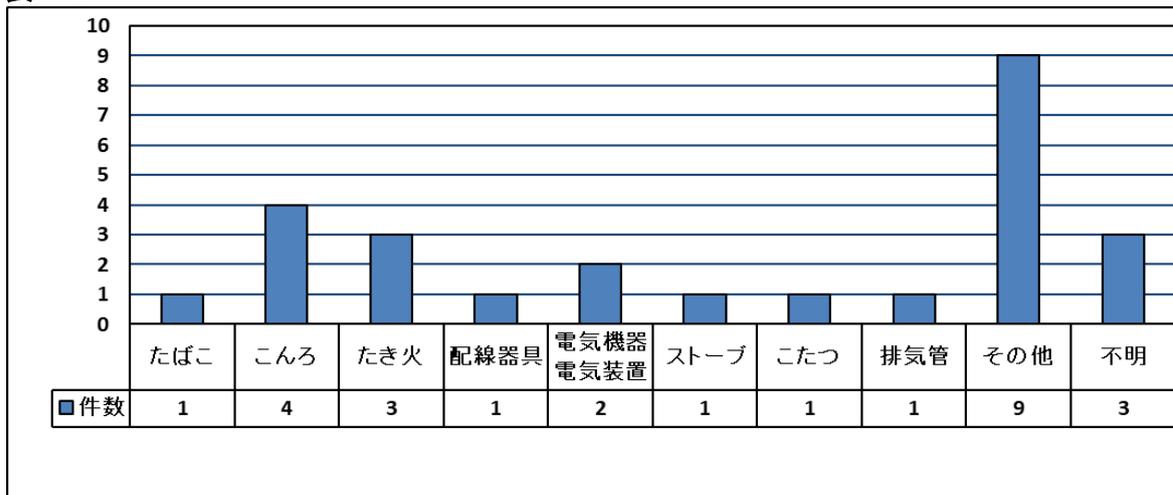
**表－8 【月別・時間別火災発生件数】**

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
建 物	1	3	2			1		1	3	1	1	1	14	
林 野													0	
車 両	2		1		1					2	1		7	
その他	1	2		1				1					5	
計	4	5	3	1	1	1	0	2	3	3	2	1	26	
0 ～ 1													0	2
1 ～ 2										1			1	
2 ～ 3		1											1	
3 ～ 4													0	0
4 ～ 5													0	
5 ～ 6													0	
6 ～ 7					1								1	3
7 ～ 8			1										1	
8 ～ 9						1							1	
9 ～ 10	1										1	1	3	5
10 ～ 11													0	
11 ～ 12		1							1				2	
12 ～ 13		1	1						1				3	9
13 ～ 14				1									1	
14 ～ 15	1		1					1		1	1		5	
15 ～ 16													0	2
16 ～ 17	1								1				2	
17 ～ 18													0	
18 ～ 19	1	1						1					3	4
19 ～ 20										1			1	
20 ～ 21													0	
21 ～ 22		1											1	1
22 ～ 23													0	
23 ～ 24													0	
不 明													0	0

## 7 出火原因

出火原因別では、表－9のとおりこんろが4件、次いでたき火が3件となっています。また、「その他」の中にはハンドトーチバーナー使用時によるガス漏れの引火や可燃性ガスを含んだスプレー缶に起因したごみ収集車荷箱内からの出火などが含まれています。

表－9 【出火原因別火災件数】



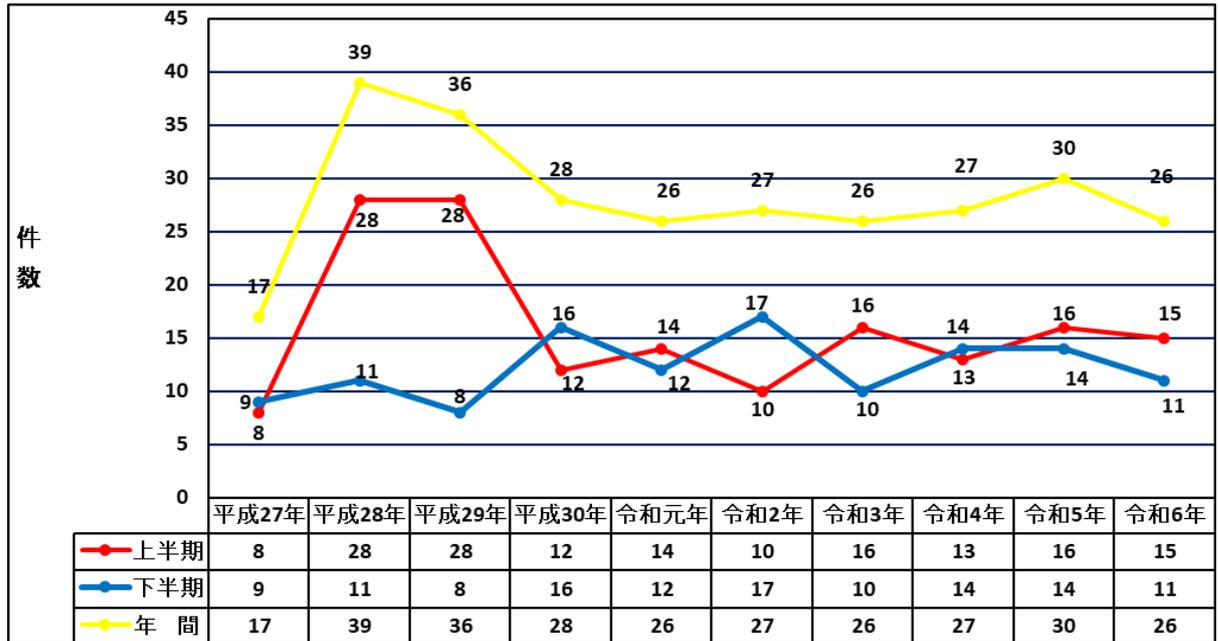
表－10 【火災種別毎の出火原因件数】

出火原因	合計	建物火災	林野火災	車両火災	その他の火災
たばこ	1				1
こんろ	4	4			
たき火	3			1	2
配線器具	1	1			
電気機器 電気装置	2	2			
ストーブ	1	1			
こたつ	1	1			
排気管	1			1	
その他	9	3		5	1
不明	3	2			1
合計	26	14	0	7	5

## 8 火災発生件数の推移（過去10年間）

過去10年間の発生の推移は表-11のとおりで、年間件数平均値は28.2件となっており、平成27年は過去最少の17件となっています。

表-11 【火災発生件数の推移（過去10年間）】



## 9 その他の出動状況

火災以外のその他の災害出動状況は、表-12のとおり1,059件（前年1,012件）出動し、これは1日に約2.9件の割合で出動したことになります。

表-12 【その他の災害出動件数】

区分	合計	火災に至らず	誤報 誤認 虚報	警戒	油流出	ガス 漏洩	特定 救急	自火報	他市 応援	捜索	その他
出動件数	1,059	15	47	303	23	7	479	88	61	2	34
出動台数	1,443	59	330	323	23	8	479	88	95	2	36
出動人員	5,570	207	1,153	1,280	93	32	1,934	355	365	8	143

※ 特定救急とは、救急現場に救急車と消防車が同時出動することをいう。

## 10 防災出動状況

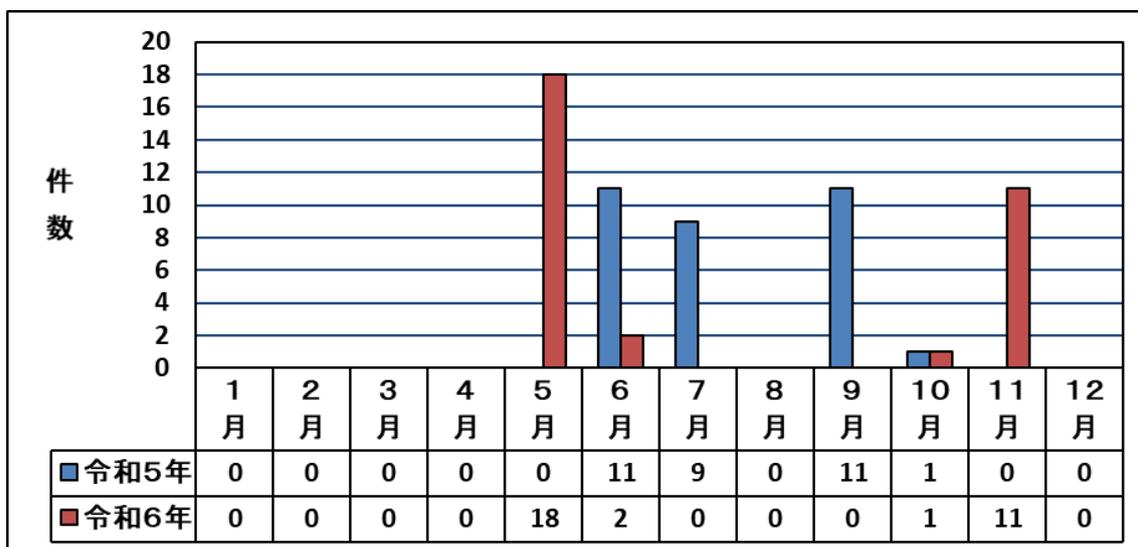
風雨等による災害の出動状況は、表－13のとおり32件（前年32件）出動し、前年と同件数となっています。

**表－13 【防災出動件数】**

区 分		令和6年 (A)	令和5年 (B)	増 減 (A)-(B)=(C)
風水害	出 動 件 数	8	5	3
	出 動 台 数	10	8	2
	出 動 人 員	37	30	7
警戒巡視	出 動 件 数	24	27	△3
	出 動 台 数	26	27	△1
	出 動 人 員	104	109	△5
合計	出 動 件 数	32	32	0
	出 動 台 数	36	35	1
	出 動 人 員	141	139	2

※ 警戒巡視とは、災害警戒本部または災害対策本部が設置されており、かつ、時間雨量又は連続雨量が規定値を超えた場合に、市内の水害危険予想箇所等の巡視を行うことをいう。風水害とは、風雨等に伴う出動で、警戒巡視以外の出動のことをいう。

**表－14 【月別防災出動件数】**



## II 救急の概要

### 1 救急事故種別出動状況

令和6年中の救急出動件数は13,997件で、表-1のとおり、前年と比べ290件増加しています。1日平均38.2件の割合で救急出動したことになります。事故種別では、急病、一般負傷、交通事故が全体の90.6%を占め、特に急病は、65.7%を占めています。

【前年との対比】

表-1

区 分	令 和 6 年 A	令 和 5 年 B	増 減 A - B = C
出 動 件 数	13,997	13,707	290
傷 病 者 搬 送 件 数	12,388	12,077	311
不 搬 送 件 数	1,609	1,630	△ 21
火 災	14	12	2
自 然 災 害	0	28	△ 28
水 難	2	7	△ 5
交 通	691	630	61
労 働 災 害	58	75	△ 17
運 動 競 技	56	60	△ 4
一 般 負 傷	2,789	2,631	158
加 害	24	33	△ 9
自 損 行 為	115	100	15
急 病	9,197	9,070	127
転 院 搬 送	819	851	△ 32
医 師 搬 送	27	19	8
医 療 資 器 材	0	0	0
そ の 他	205	191	14
1 日 平 均	38.2	37.6	△ 0.6
覚 知 ~ 現 場 到 着	8分51秒	9分1秒	△ 10秒
覚 知 ~ 病 院 到 着	37分49秒	40分4秒	△ 2分 15秒

※ △は減少を示す。

## 2 傷病程度別搬送状況

令和6年中の搬送人員は12,437人で、前年の12,120人と比べ、317人増加しました。市民17.7人に1人が救急車で運ばれたこととなります。傷病程度別では、死亡、重症、中等症の傷病者の割合は50.3%、入院の必要なしと診断された軽症の傷病者は49.7%を占めています。

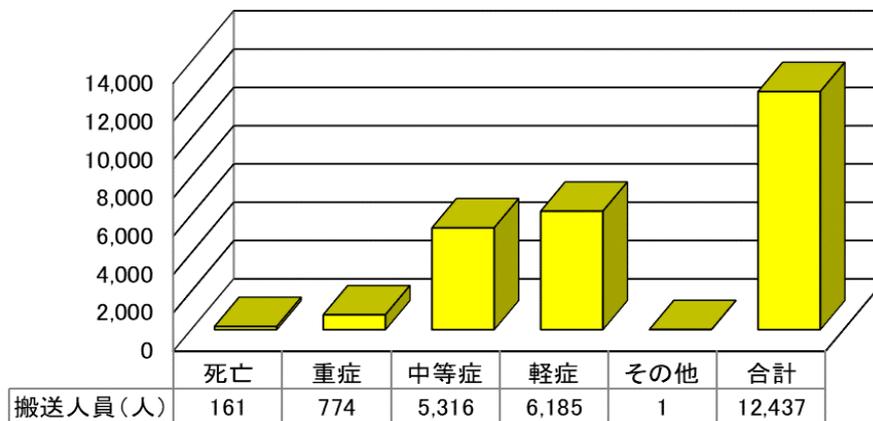
表-2-1 【前年との対比】

区 分	令 和 6 年 A	令 和 5 年 B	増 減 A - B = C	傷 病 程 度					合 計
				死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他	
搬送人員	12,437	12,120	317	161	774	5,316	6,185	1	12,437
火 災	8	2	6	0	2	4	2	0	8
自然災害	0	23	△ 23	0	0	0	0	0	0
水 難	1	2	△ 1	0	0	1	0	0	1
交 通	620	570	50	5	24	127	464	0	620
労働災害	56	72	△ 16	0	5	12	39	0	56
運動競技	52	59	△ 7	0	0	13	39	0	52
一般負傷	2,540	2,366	174	14	199	765	1,562	0	2,540
加 害	19	24	△ 5	0	0	0	19	0	19
自損行為	71	59	12	5	9	25	32	0	71
急 病	8,249	8,094	155	137	402	3,777	3,932	1	8,249
そ の 他	821	849	△ 28	0	133	592	96	0	821

※ 傷病程度欄のその他は医療機関に収容目的でヘリコプター中継地点に搬送したものの。

表-2-2 【傷病程度別搬送人員】

搬送人員(人)



■搬送人員(人)

### 3 署所別出動状況

総出動件数13,997件のうち、表-3-1のとおり、本部（機動救急隊及び臨時編成隊）が262件（1.9%）、西消防署が8,727件（62.3%）、東消防署が5,008件（35.8%）出動しています。

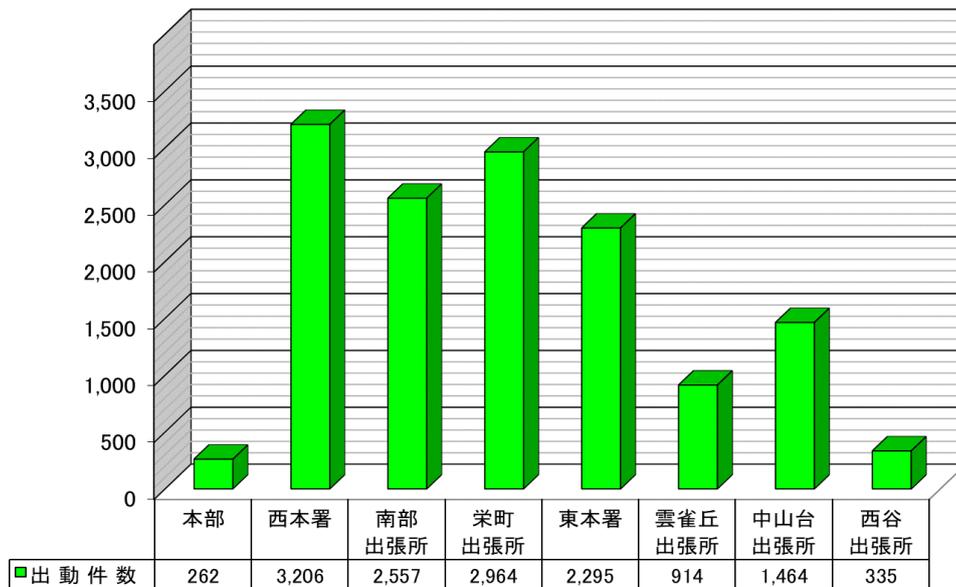
本部のうち、機動救急隊（令和6年10月運用開始）は254件、臨時編成隊は8件出動しました。

表-3-1 【署所別出動件数1】

区 分	合 計	本 部	西 消 防 署				東消防署				
			小 計	本 署	南 部 出張所	栄 町 出張所	小 計	本 署	雲雀丘 出張所	中山台 出張所	西 谷 出張所
出 動 件 数 (件)	13,997	262	8,727	3,206	2,557	2,964	5,008	2,295	914	1,464	335
構 成 比 (%)	100.0	1.9	62.3	22.9	18.3	21.2	35.8	16.4	6.5	10.5	2.4
1 日 平 均 (件)	38.2	0.7	23.8	8.8	7.0	8.1	13.7	6.3	2.5	4.0	0.9
1 カ 月 平 均 (件)	1166.4	21.8	727.3	267.2	213.1	247.0	417.3	191.3	76.2	122.0	27.9

表-3-2 【署所別出動件数2】

出 動 件 数



#### 4 医療機関別搬送状況

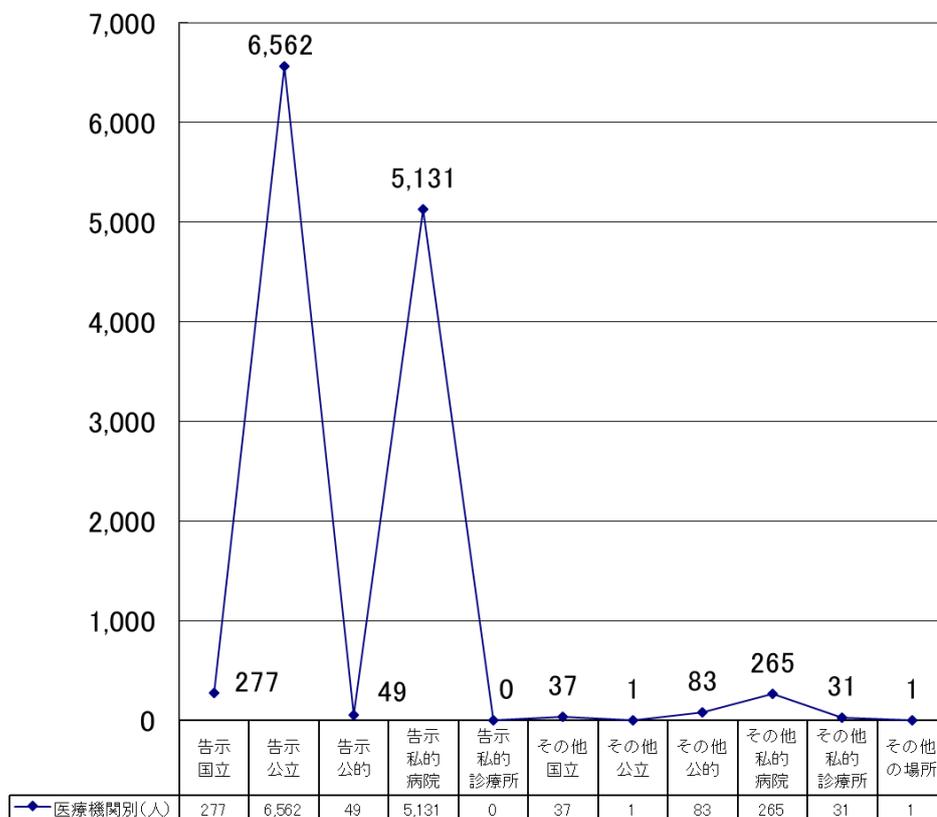
搬送状況を収容医療機関別に区分すると、表－４－１のとおり、搬送人員の96.6%を占める12,019人が救急告示病院に搬送され、417人がその他の医療機関に搬送されました。また、市内の救急告示病院への搬送人員は9,165人で全体の73.7%を占め、その他の医療機関を含めると9,193人となり市内へは73.9%が搬送されたこととなります。

**表－４－１ 【医療機関別搬送状況 1】**

区分	救急告示医療機関					その他の医療機関					その他の場所	合計 (人)		
	国立	公立	公的	私的		国立	公立	公的	私的					
				病院	診療所				病院	診療所				
市内	0	4,707	0	4,458	0	9,165	0	0	0	2	25	27	1	9,193
市外	277	1,855	49	673	0	2,854	37	1	83	263	6	390	0	3,244
合計	277	6,562	49	5,131	0	12,019	37	1	83	265	31	417	1	12,437

※ その他の場所は医療機関に収容目的でヘリコプター中継地点に搬送したものの。

**表－４－２ 【医療機関別搬送状況 2】**



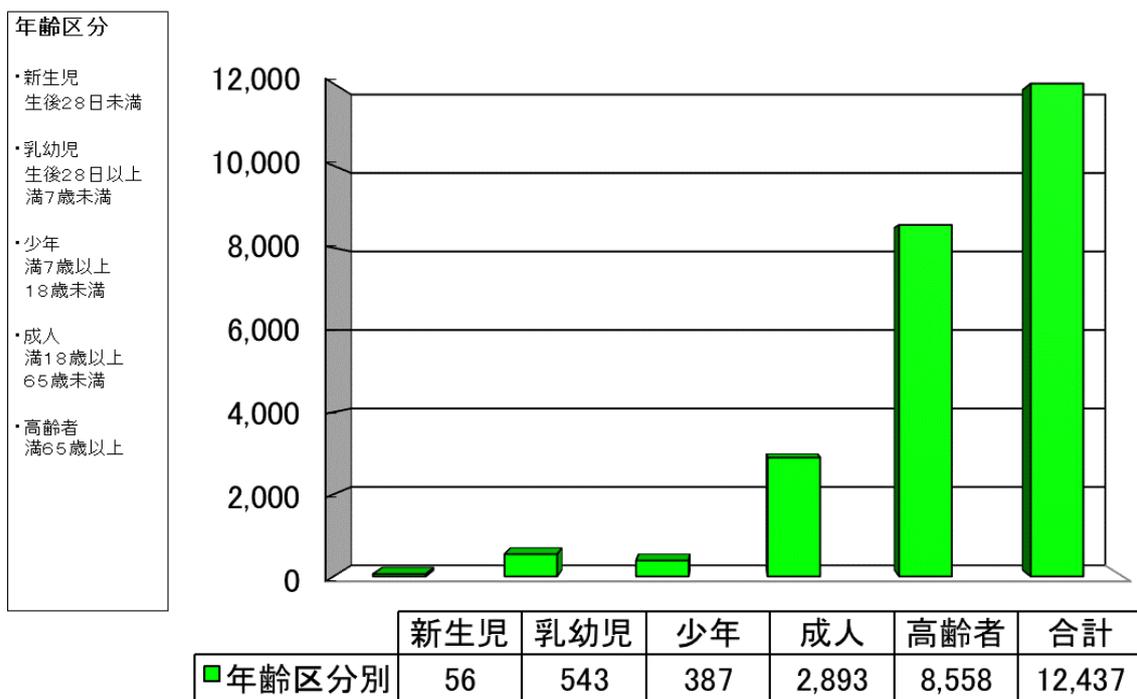
## 5 年齢区分別搬送状況

年齢区分別にみると、表-5-1のとおり、新生児56人（0.5%）、乳幼児543人（4.4%）、少年387人（3.1%）、成人2,893人（23.3%）、高齢者が8,558人（68.8%）となっています。高齢者の搬送割合が高く、高齢者の急病は5,840人で、高齢者全体の搬送のうち68.2%を占めます。

表-5-1 【年齢区分別搬送状況1】

区分	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
新生児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	52	56
乳幼児	0	0	0	23	0	0	141	0	0	358	21	543
少年	0	0	0	50	0	37	75	4	9	204	8	387
成人	3	0	0	346	42	13	343	11	51	1,843	241	2,893
高齢者	5	0	1	201	14	2	1,981	4	11	5,840	499	8,558
合計	8	0	1	620	56	52	2,540	19	71	8,249	821	12,437

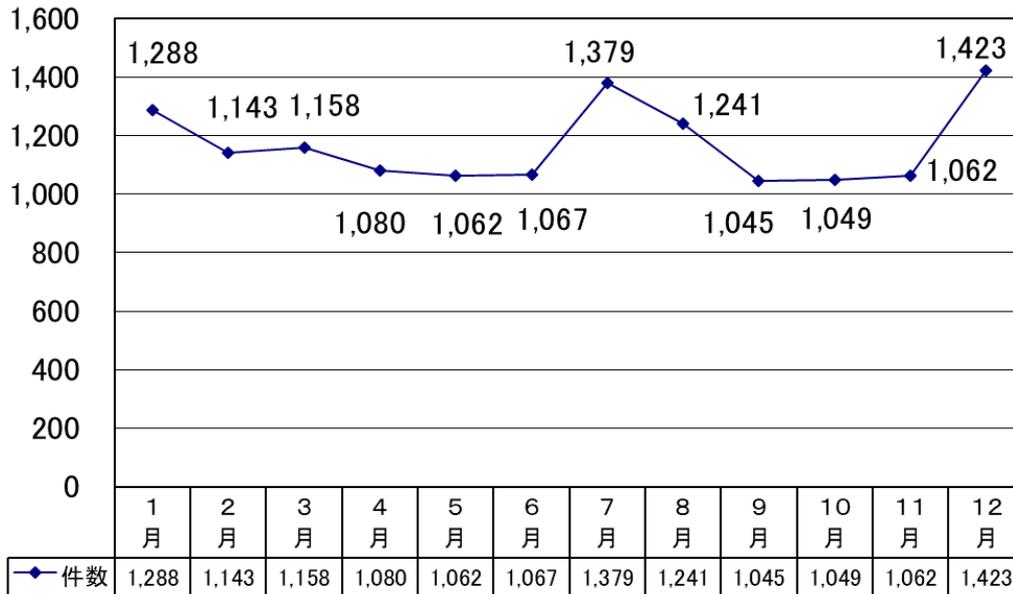
表-5-2 【年齢区分別搬送状況2】



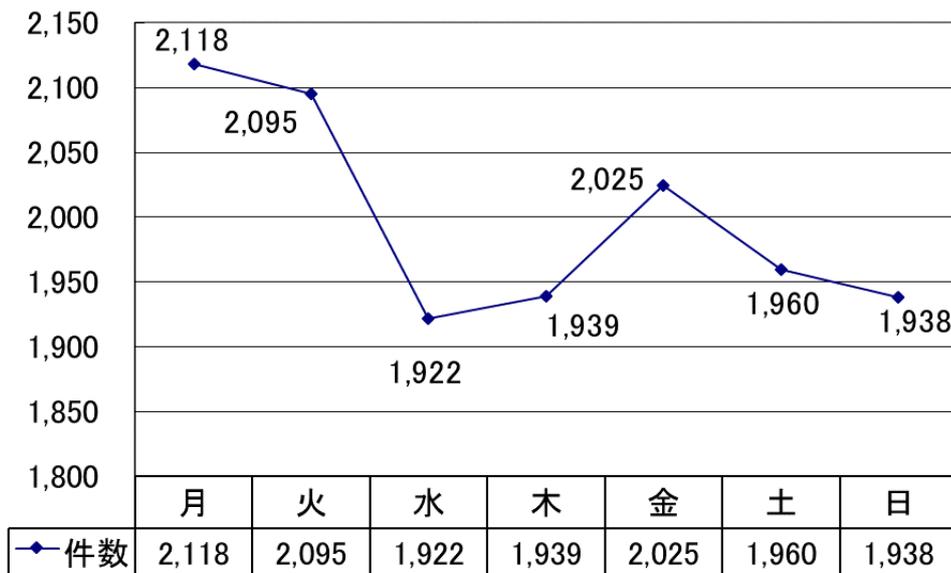
## 6 月別・曜日別出動状況

月別出動件数は、表－6－1のとおり、7月が1,300件、12月が1,400件を超えました。

表－6－1 【月別出動件数】



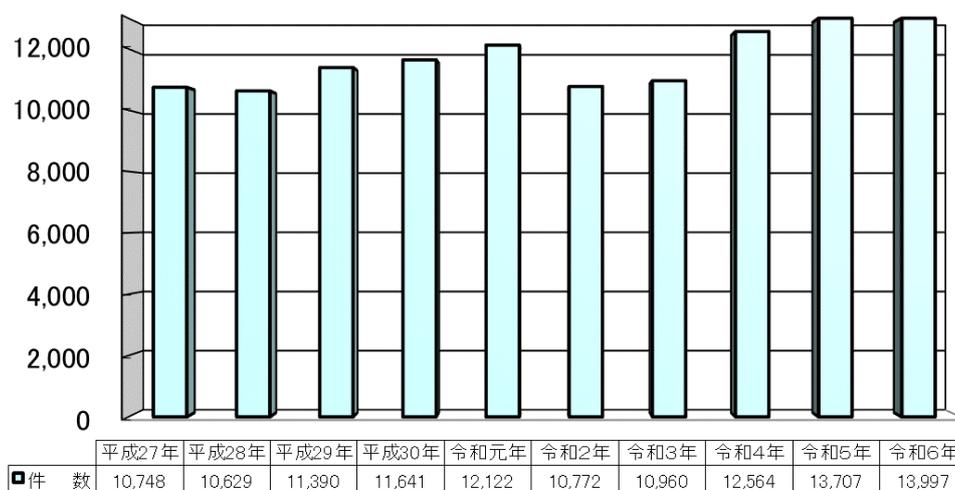
表－6－2 【曜日別出動件数】



## 7 救急出動件数の推移

過去10年間の推移は表-7-1のとおりで、平成26年以前は10,000件未満でしたが、平成27年に初めて10,000件を超え、令和元年は12,000件を超えました。令和2年の新型コロナウイルス感染症流行以降、救急出動件数は減少傾向となり、令和2年、令和3年は11,000件を下回っていましたが、令和4年以降は毎年過去最多を更新し、令和6年は13,997件となりました。

表-7-1 【救急出動件数の推移(過去の10年間)】



救急出動件数の多くを占める、急病、交通事故、一般負傷の過去10年間の推移は、表-7-2のとおりです。

表-7-2 【急病・交通事故・一般負傷の出動件数(過去10年間)】

区分	急病	交通事故	一般負傷	その他
平成27年	6,775	817	1,974	1,182
平成28年	6,829	755	1,891	1,154
平成29年	7,196	823	2,077	1,294
平成30年	7,420	772	2,137	1,312
令和元年	7,805	695	2,287	1,335
令和2年	6,897	566	2,105	1,204
令和3年	7,111	597	2,114	1,138
令和4年	8,373	593	2,450	1,148
令和5年	9,070	630	2,631	1,376
令和6年	9,197	691	2,789	1,320

### Ⅲ 救助の概要

#### 1 救助事故種別出動状況

令和6年中の救助出動件数は328件で、表-1-1のとおり、前年と比べ8件減少しています。救助活動件数は268件で前年と比べ2件減少し、救助人員は218名で23名増加しています。

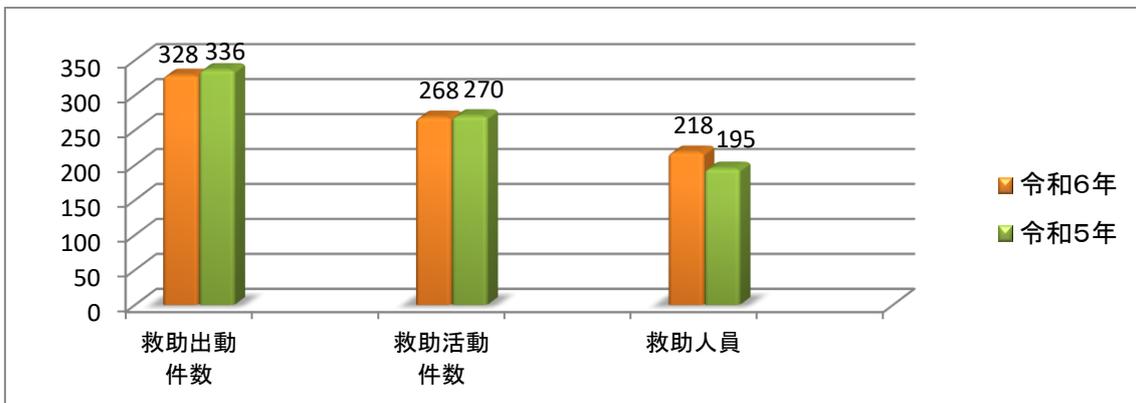
事故種別ごとの救助出動件数をみると、建物等の事故が多く発生しています。

表-1-1 【前年との対比】

区分		令和6年	令和5年	増減
		(A)	(B)	(A)-(B)=(C)
救助出動件数		328	336	△8
救助活動件数		268	270	△2
救助人員		218	195	23
出動人員	救助隊専任	1344	1618	△274
	救助隊兼任	86	42	44
	消防隊	1363	1435	△72
	救急隊	1001	993	8
火災	建物	2	1	1
	建物外	0	0	0
交通事故		26	25	1
水難事故		2	6	△4
風水害等自然災害		1	1	0
機械による事故		1	0	1
建物等による事故		174	160	14
ガス及び酸欠事故		1	2	△1
破裂事故		0	0	0
その他の事故		121	141	△20

※ △は減少を示す。

表-1-2 【救助出動件数・救助活動件数及び救助人員】



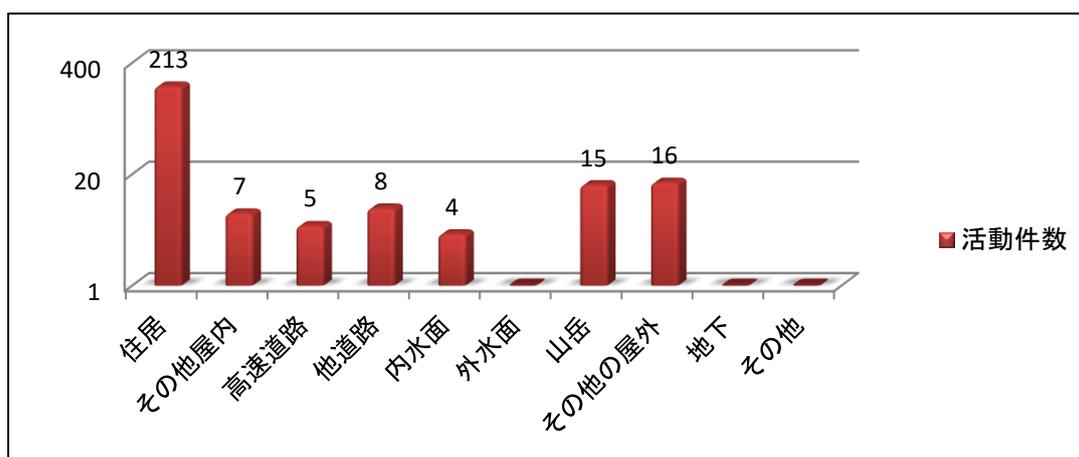
## 2 発生場所別活動件数・救助人員状況

救助活動件数は268件で救助人員は218名です。発生場所別活動件数及び救助人員は表-2-1、表-2-2のとおりとなっています。

表-2-1 【発生場所別活動件数・救助人員】

区分	活動件数	屋内		屋外						地下	その他
		住居	その他屋内	道路		水面		山岳	その他の屋外		
				高速道路	他道路	内水面	外水面				
救助人員											
火災	建物	2	2								
	建物以外	1	1								
交通事故		14		5	5	1			3		
		15		6	5	1			3		
水難事故		2				2					
		2				2					
自然災害		1			1						
		1			1						
機械による事故		1	1								
		1	1								
建物等による事故		161	153	6					2		
		157	151	5					1		
ガス及び酸欠事故		1							1		
		1							1		
破裂事故											
その他		86	58		2	1		15	10		
		40	8		2	1		19	10		
合計		268	213	7	5	8	4	15	16		
		218	160	6	6	8	4	19	15		

表-2-2 【発生場所別活動件数】



### 3 建物内生存者確認による出動状況

建物内生存者確認による出動状況は、令和6年中の救助出動328件の内、147件で44.8%を占めています。

表-3-1 【建物内生存者確認による月別出動件数1】

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
要救助者有	7	1	10	4	4	4	12	9	11	8	7	6	83
誤報(外出・入院等)	7	7	4	2	6	4	9	4	6	3	6	6	64
合計	14	8	14	6	10	8	21	13	17	11	13	12	147

※ 誤報とは外出、入院等で不在の場合や、睡眠中、いたずら等を指します。

表-3-2 【建物内生存者確認による月別出動件数2】

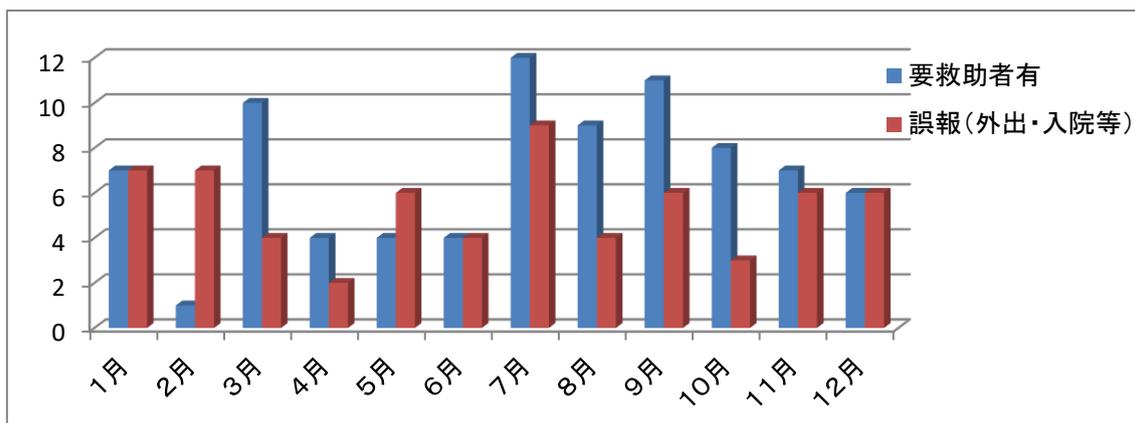
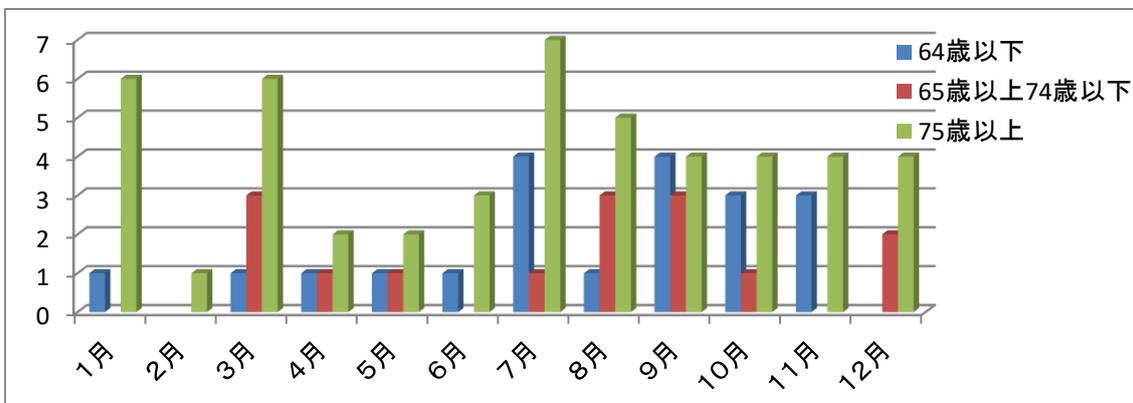


表-3-3 【要救助者の内、高齢者及び後期高齢者の人数1】

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
64歳以下	1		1	1	1	1	4	1	4	3	3		20
高齢者(65歳以上74歳以下)			3	1	1		1	3	3	1		2	15
後期高齢者(75歳以上)	6	1	6	2	2	3	7	5	4	4	4	4	48
合計	7	1	10	4	4	4	12	9	11	8	7	6	83

※ 要救助者の内、高齢者及び後期高齢者の占める割合は75.9%です。

表－３－４ 【要救助者の内、高齢者及び後期高齢者の人数２】



表－３－５ 【死亡者数の内、高齢者及び後期高齢者の人数】

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
64歳以下			1	1			3	1	2	3	1		12
高齢者(65歳以上74歳以下)			2					3	3	1		1	10
後期高齢者(75歳以上)	3		1	2	1	1	4	4	2	1	2	2	23
合計	3	0	4	3	1	1	7	8	7	5	3	3	45

※ 死亡者数の内、高齢者及び後期高齢者が占める割合は73.3%です。



# 宝塚市消防本部